

保護者の皆様

令和6年10月1日

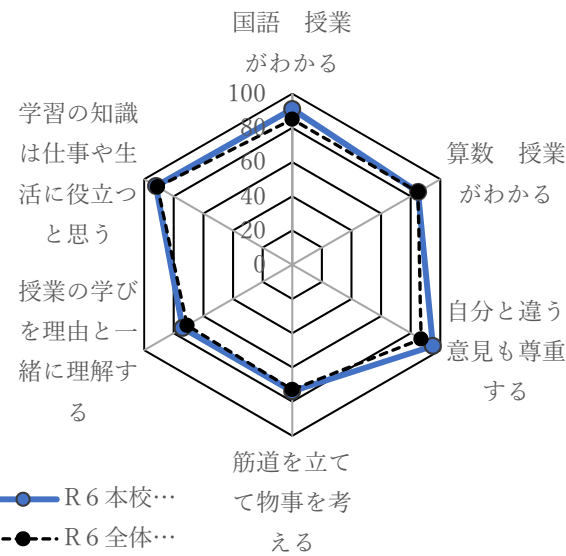
川崎市立麻生小学校  
校長 山岡 昌子

### 令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日(金)～16日(火)に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日(木)に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、学校報告会や説明会、また、学校ホームページ等でもお伝えします。

- 学校教育目標** ○進んで学びとろうとする子ども ○じぶんで考え進んでおこなう子ども  
○美に感じ思いやりのある子ども ○心身ともにたくましい子ども
- めざす学校** 一人ひとりが認め合い、自分らしさを輝かせ、響きあう学校  
～人・物・こととの出会いを大切に、互いのよさを認め、高め合える麻生小学校～
- 麻生小が育成を目指す3つの資質・能力**
- ①学習や生活で活用できる基礎・基本となる知識と技能の習得
  - ②未知のことにも既に得ている知識・技能を活用して自分でよく考え課題を解決し表現する力
  - ③いろいろな考えや意見があることを認め、他者と協力し学びの意義を実感して生活に生かす態度

### 令和6年度 川崎市学習状況調査 4年生



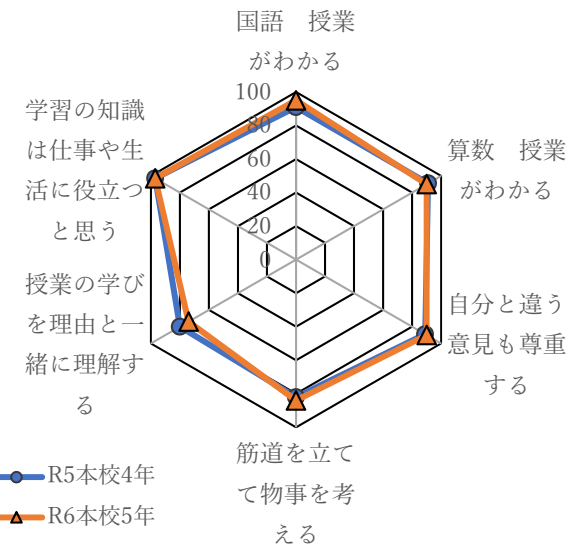
・「国語の授業がわかる」は91ポイント、「算数の授業がわかる」は85ポイントでした。昨年同様、本校が育成を目指す3つの資質、能力の①に対する取組が成果として表れていることを示しています。

・「国語 思考・判断・表現」は61ポイント、「算数 思考・判断・表現」は69ポイントでした。全国と比較すると平均正答率は上回っています。「筋道を立てて物事を考える」、「授業の学びを理由や考え方も一緒に理解する」は共に74ポイントでした。他の結果も加味し、様々な体験活動にチャレンジし、そこから学んだことを生かして考えるための支援や身近な生活場面と学習を関連付けながら考える活動を重視し、今年度を越えるポイントを目指します。

・「自分と違う意見も尊重する」は95ポイントで全国より7ポイント高い結果となりました。本校が育成を目指す3つの資質、能力の③に対する取組が成果として表れていることを示しています。今後も様々な人と関わり合いながら授業や行事に取り組む中で、それぞれの考えを伝え合ったり、お互いのがんばりやよさを認め合ったりする活動を重視していきます。

	国語 思考・判断・表現	算数 思考・判断・表現
R6本校4年	68	69
R6全体4年	61	59

### 令和6年度 川崎市学習状況調査 5年生

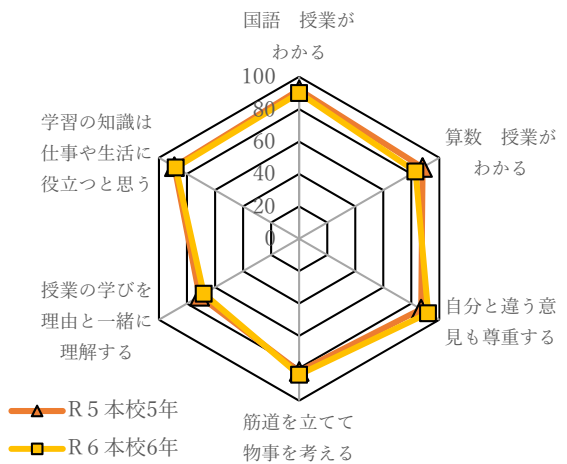


・「国語の授業がわかる」は95ポイント、「算数の授業がわかる」は90ポイントで、昨年とほぼ変わらない結果となりました。全国と比較すると10ポイント以上高く、4年生と同様に本校が育成を目指す3つの資質、能力の①に対する取組が成果として表れていることを示しています。

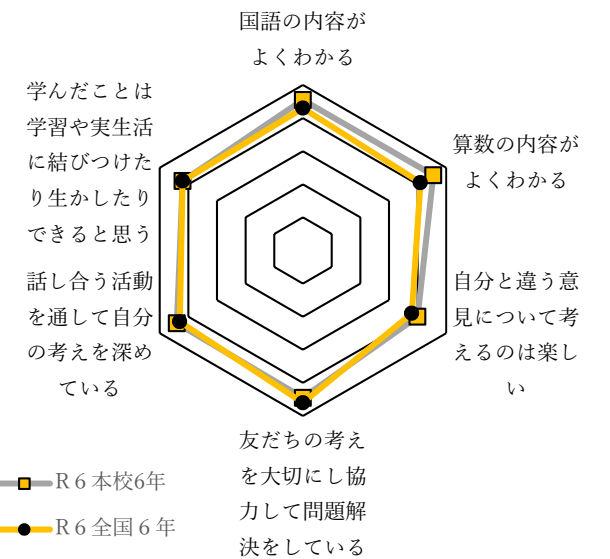
・国語の「思考・判断・表現」は71ポイント、算数の「思考・判断・表現」は55ポイントで、昨年より減少しましたが、全国の結果からは大きく上回っています。「筋道を立てて物事を考える」は84ポイント、「授業の学びを理由や考え方も一緒に理解する」は74ポイントでした。様々な生活経験を積み、学んだことを生かしたり、身近な生活場面と学習を関連付けたりしながら考える活動を重視し、次年度は今年度を越えるポイントを目指します。

・「学習の知識は仕事や生活に役立つと思う」は、昨年同様97ポイントでした。本校が育成を目指す3つの資質、能力の③の「学びの意義を実感して生活に生かす態度」の育成への取組が、結果として表れていることを示しています。キャリア在り方生き方教育とも関連付けながら、子ども達が自己実現に向け主体的に学習できるよう支援していきます。

### 令和6年度 川崎市学習状況調査 6年生



### 全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語の授業がわかる」は90ポイント(5年生時92ポイント)国語の「思考・判断・表現」は75ポイント(5年生時80ポイント)でした。【グラフ左と表より】5年生の時と比較すると少し下がった結果となっていますが、全国と比較するとそれぞれ5ポイント、10ポイント高い結果が出ています。文章を読み取る力や自分の考えや思いを説明する力をさらにつけるため、3年間継続して研究している国語の研究の指導の一層の充実を図り、読書活動の質の向上を目指したり、話し合い活動を積極的に取り入れたりする活動を重視します。

・「算数の授業がわかる」は84ポイント(5年生時88ポイント・全国84ポイント)で、算数の「思考・判断・表現」49ポイント(5年生時52ポイント)ですが、全国と比較すると16ポイント上回っています。【グラフ左と表より】右のグラフを見ても「算数の内容がわかる」と回答している子の割合が全国より多いことが分かります。【グラフ右】他の結果から、「算数ができる、わかる」と感じている子とそうでない子の差に開きがあることがわかりました。個に応じた指導(GIGA端末の活用等)や振り返り学習の充実、グループ学習等の学習形態の工夫を進めるとともに、低学年からの基礎学力の定着を図ることなどを今後重視する必要があると考えています。

・「自分と違う意見も尊重している」については、昨年度ポイントアップを目指す項目に上がっていましたが、今年は5ポイントアップすることができました。日々の授業や委員会活動、実行委員活動等で、様々な意見のよさを認めて、よりよい考えを導き出す活動を重視し、本校が育成を目指す資質・能力の③への取組を今後も継続して行っていく予定です。